

栄光学園の課外活動

学校長

2019年3月

1. 目的

栄光学園の教育で最も大切なことは、授業を中心とする教科教育である。本校で学ぶすべての生徒は、文理両面の学力を身につけることを基本とする知的養成をしていくことが求められる。

しかしそうした知的養成は、他者に対して開かれた心を持つとともに、人々に奉仕していくために必要なコミュニケーション能力や身体の発達などバランスのとれた人間であること、すなわち全人的な成長のうえに成り立つべきものである。

栄光学園の課外活動は、活動への参加を通じて生徒一人一人が自分と違う考えを持っている人とも理解しあおうとし、目標を達成するためにも力を合わせて努力する経験を重ねていきながら、他者と協働することに価値を見いだすことのできる人間に育つこと、あるいは成功も失敗も広い心で受け入れることなど、人間的な成長を遂げていくことを目的として行われるものである。

たとえ競技種目であっても、人間的成長を度外視して、勝つことだけをすべてに優先するような勝利至上主義であってはならず、生徒自身が自ら考えて主体的に取り組むことが必要である。課外活動に参加する生徒は、活動で得られた体験をもとにその意味や価値を探り、そうした内省を経て、自らの成長につながる次の実践的行動を選びとっていく I P 教育 (Ignatian Pedagogy) のプロセスを通じて、生徒自らが自分自身を育てていくことが大切にされなければならない。

2. 活動

栄光学園の課外活動とは以下の三つである。

- A 部活動 B グループ活動 C 委員会活動など

上記のうち、生徒は以下の条件を満たす、いずれかの活動に参加する。

- a 週1～2回、通年で活動している
- b 単年で終わらず、継続的に活動する見込みがある

ただし、中学三年生の一学期までは、部活動に参加する。

3. 活動にあたって念頭に置く事項

- a) 他の教育活動との調和を図る
- b) 生徒の家庭生活を大事にする
- c) 下級生の指導に当たる生徒の負担を考慮する
- d) 安全に関して配慮をする
- e) 顧問の負担に配慮をする

4. 活動日について

- a) 週内の放課後の活動は原則2日までとする。
- b) 金曜日は聖書研究の日とし、特別な許可がない限り、課外活動は行わない。
- c) 休暇が持つ積極的な意味を尊重し、日曜日はカトリック学校として大切な日であることに配慮して、日曜日の活動は原則として月2回までとする。
- d) 生徒は複数の課外活動に参加することができるが、その場合の放課後の活動回数は合わせて週3回までとする。